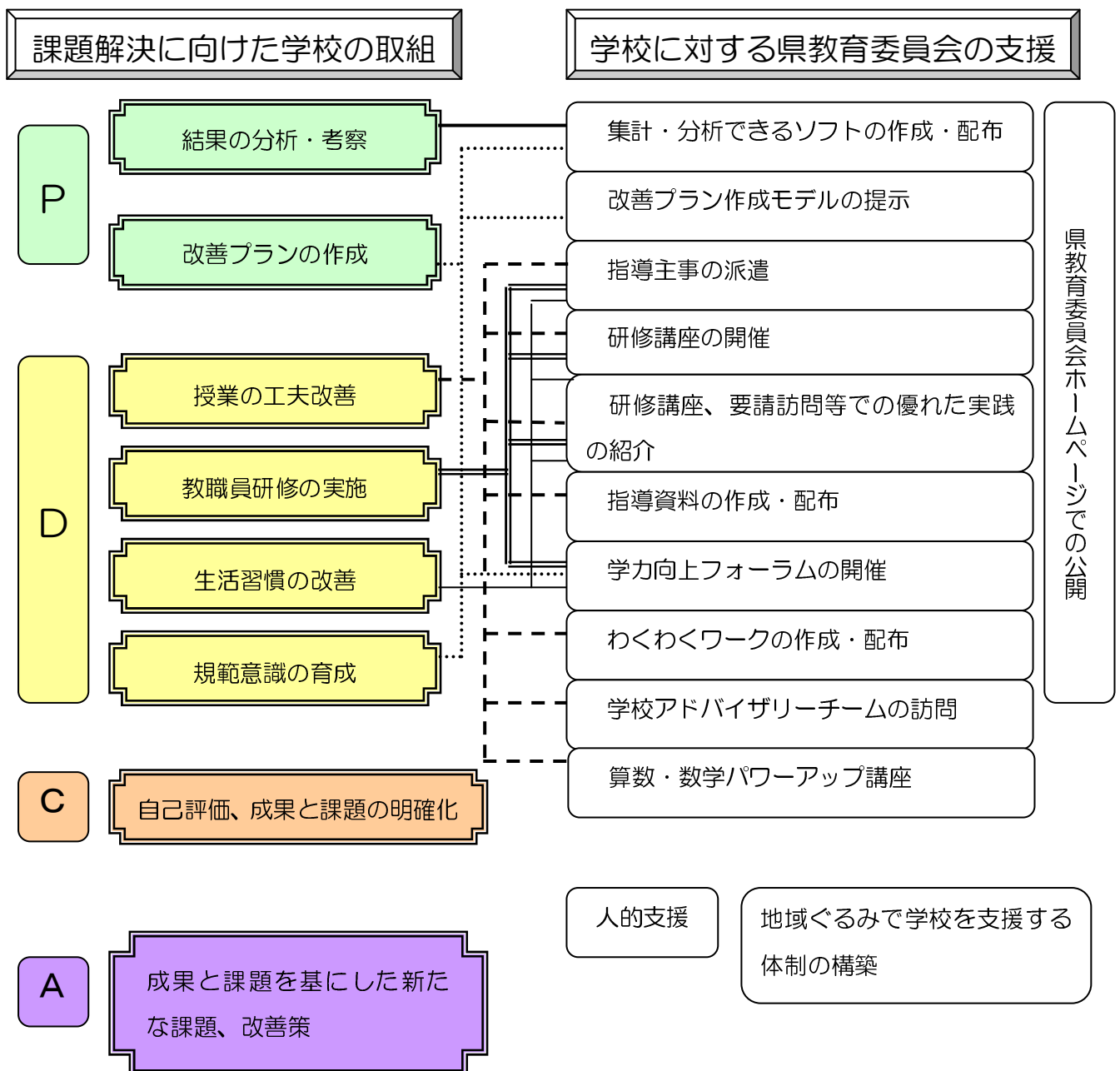
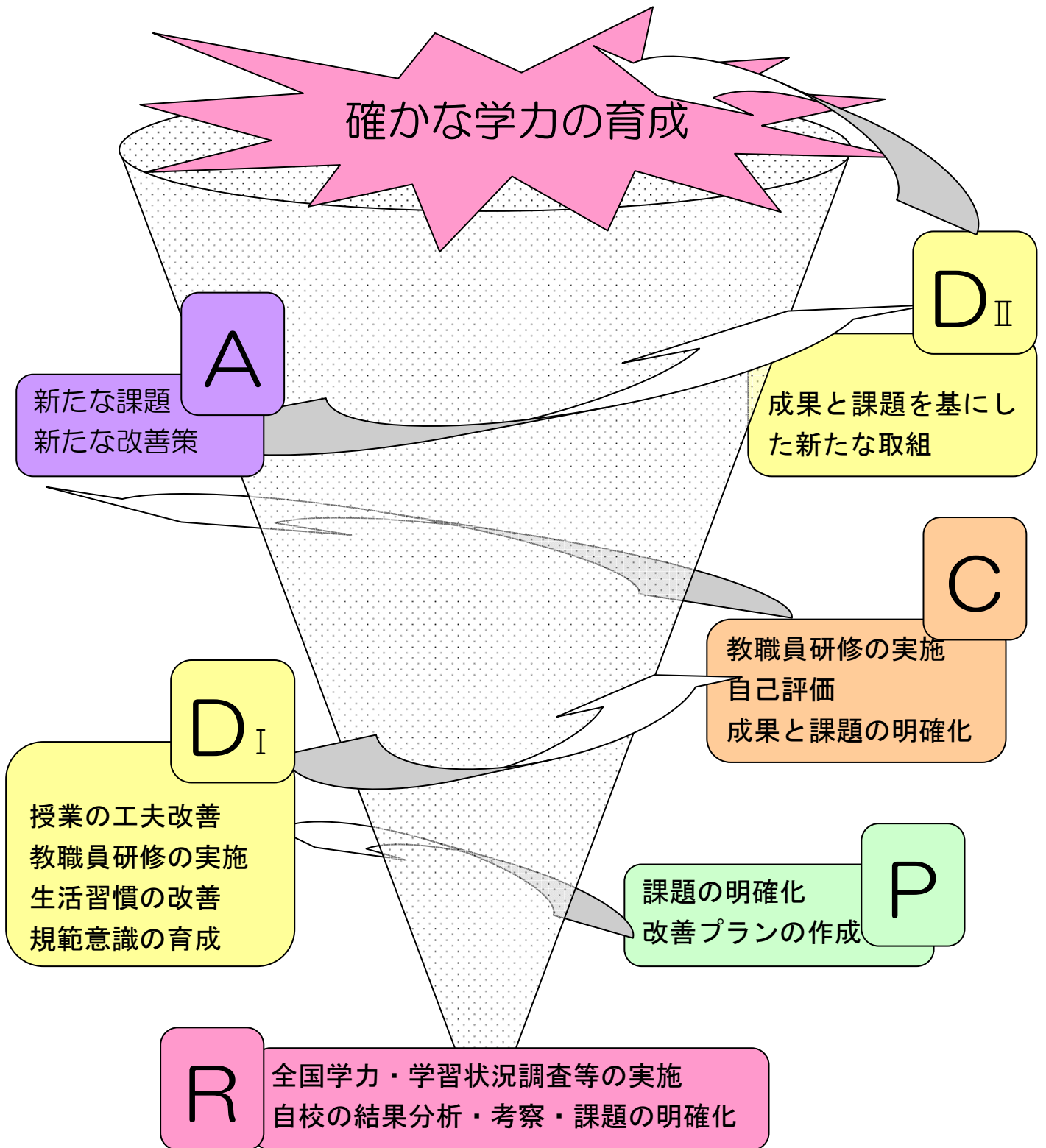


各学校での検証改善サイクルと取組例

年間を見通して、学校全体で取り組むシステムをつくりましょう。いくつかの例を示しています。取り組む際の参考にしてください。県教育委員会では、それぞれの取組に応じた支援を行っています。

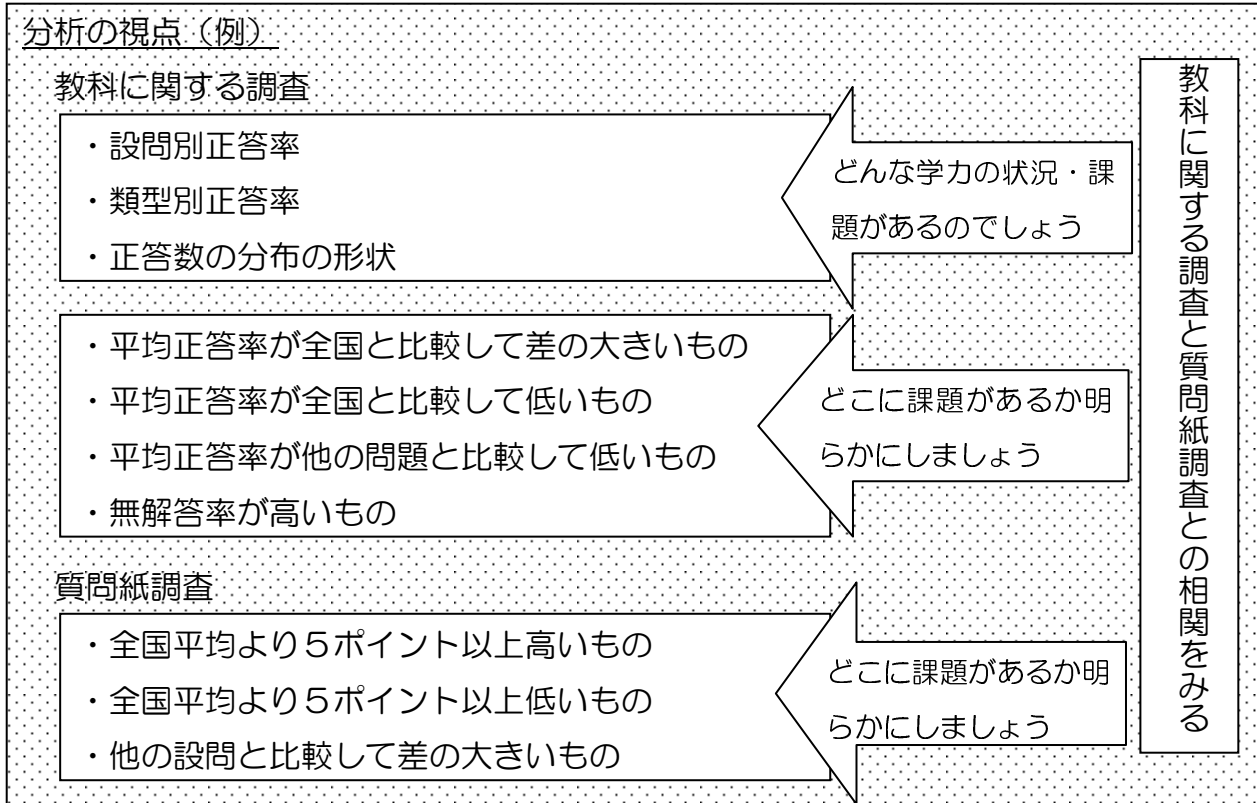


検証改善サイクル構造図



結果の分析・考察

学校全体で取り組むシステムをつくりましょう。
学校独自の改善プランを作成するには、全国学力・学習状況調査等の学校の調査結果を集計・分析することが必要です。



県教委では、各学校で活用できる集計・分析のためのソフトを提供しています。

改善プランの作成

学校全体で取り組むシステムをつくるため、学力向上にかかわる校内組織を設置しましょう。

既存の組織も活用し、確かな学力を身に付けさせるために、学校・家庭・地域の役割を明確にし、連携できるようにしましょう。

分析結果を踏まえて、学校としての重点目標を定め、学校全体で取り組みましょう。

授業の工夫改善

教職員の研修

知識・技能を活用して、問題解決を行う学習を組み立てましょう。
学習に対する意欲を高める手立てを工夫しましょう。

★★★ 学習意欲の向上を目指す ★★★

- ⇒ 興味・関心を高める教材の開発を行う。
- ⇒ 朝の学習や朝の読書など、継続した取組の中で達成感や成就感を味わわせる。
- ⇒ 単元のはじめに学習の見通しをもたせる。
- ⇒ 失敗や苦勞をしてもやりとげさせ、達成感を味わわせる。
- ⇒ 学習規律の定着を図る。 等

★★★ 知識・技能の確実な定着を図る ★★★

- ⇒ つまづきやすい内容を繰り返し学習する機会を設ける。
- ⇒ 少人数指導、個別指導、習熟度別指導等の指導体制を工夫する。
- ⇒ わくわくワーク（ワークシート）を活用する。
- ⇒ 家庭学習の工夫をする。 等

★★★ 知識・技能を活用し、課題を解決する力の育成を図る ★★★

- ⇒ 知識・技能を活用する場面を取り入れた指導計画を立てる。
- ⇒ 日常生活との関連を図った学習活動を意図的に取り入れる。
- ⇒ 体験的な活動の中に、知識・技能を活用する場面を位置付けた指導を展開する。
- ⇒ 学び方や考え方を身に付けさせる学習を取り入れる。
- ⇒ 指導資料を活用し、授業改善を図る。 等

★★★ 日常生活との関連を図った言語活動の工夫を図る ★★★

- ⇒ 各教科において位置付ける言語活動を明らかにする。
- ⇒ 身に付けた言語能力を使う必然性のある場面を設定する。
- ⇒ 教職員自身の言語の見直しを行う。
- ⇒ 話合いの司会や発表の機会を充実させる。
- ⇒ 相手や場面に応じた話し方や書き方について指導を行う。
- ⇒ 少人数での話合いの場面を設定する。
- ⇒ 話の要点を聞き取り、要約する活動を取り入れる。
- ⇒ 限られた条件の中で、必要な情報をまとめて表現する学習を取り入れる。
- ⇒ 掲示物等の学校内の児童生徒の言語環境を充実させる。
- ⇒ 学校図書館の計画的な活用を図る。
- ⇒ 読書活動の一層の推進を図る。
- ⇒ 指導資料を活用し、授業改善を図る。 等

★★★ 校内研修の充実を目指す ★★★

- ⇒ 明らかになった課題を解決するための研修内容を検討する。
- ⇒ 児童生徒の実態に応じた指導方法の改善点を検討する。
- ⇒ 自校の課題解決のための重点目標の設定や、研修計画の作成を行う。
- ⇒ 研究授業を積極的に行い、実践的な研究を重ねる。
- ⇒ 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、教科指導の改善に生かす。 等

★★★ 効果的な指導体制の確立を目指す ★★★

- ⇒ 指導計画の見直しや指導体制の検討を行う。
- ⇒ 研修体制や研修計画を見直す。
- ⇒ 学校支援地域本部事業等を活用するなど、地域ぐるみで学校を支援する体制の構築を図る。 等

授 業 診 断 シ ー ト

学校名：	小学校	教科等：
学年組：	年 組	授業者：
日 時：	年 月 日第 校時	

項目	診 断 の 観 点	備 考
児童 の 状 況	教員や友達の話を中心して聞いている。	
	進んで発言したり活動したりしている。	
	課題意識をもって学習に取り組んでいる。	
	学習内容を踏まえた発言がなされている。	
	学習内容を踏まえた記述がされている。	
授 業 の 展 開 等	学習のめあてを児童に明確に示している。	
	ねらいに即した授業展開で進められている。	
	考える時間や活動時間などの配分が適切である。	
	授業のねらいに即した発問である。	
	何をどうすればよいのか明確な指示である。	
	ポイントが絞られた簡潔な説明である。	
	文字の大きさや配列が工夫された分かりやすい板書である。	
	児童一人一人の学習状況に応じた支援をしている。	
	評価規準に基づいて評価が行われている。	
学習環境が整えられている。		
指 導 方 法 の 工 夫	グループ活動を効果的に取り入れている。	
	体験的、問題解決的な学習を取り入れている。	
	個別指導や習熟の程度に応じた指導を取り入れている。	
	教員の協力的な指導を取り入れている。	
	保護者や地域の人々等の活用を図っている。	
	少人数による指導を生かしている。	
	コンピュータ等の情報機器を有効に活用している。	

(小学校用)

授業診断シート

学校名：	学年組： 年 組
授業者：	教科等：
日 時： 年 月 日第 校時	単元名：

項 目	授業診断の観点	備 考
生徒の状況	落ち着いた態度で集中して学習に取り組んでいる。 ----- 教科書等の必要な学習教材が用意されている。 ----- 学習内容について積極的に発言している。 ----- 予習を行うなど授業を受ける準備がされている。 ----- 板書内容等を正確に記録している。 ----- 教員の発問の趣旨を理解して答えている。	

授業の展開等	単元の指導計画に沿って授業が行われている。 ----- 適切な時間配分で授業を行っている。 ----- 指示する内容が生徒に伝わっている。 ----- 生徒の立場に立った説明になっている。 ----- 生徒の学習理解を促すための工夫がみられる。 ----- 生徒の学習状況に応じた発問がされている。 ----- 生徒の学習理解を促す板書内容になっている。 ----- 本時のまとめが学習内容の確実な定着を図るものになっている。 ----- 生徒の安全に留意しながら授業が行われている。 ----- 整備された環境の中で授業が行われている。 ----- 適切な評価がされている。	
--------	--	--

指導方法の工夫	問題解決的な学習を取り入れている。 ----- 体験的な学習を取り入れている。 ----- 個別指導やグループ別指導を取り入れている。 ----- 習熟の程度に応じた指導を取り入れている。 ----- 教員の協力的な指導を取り入れている。 ----- コミュニティーチャーター等地域社会の人材を活用している。 ----- コンピュータ等の情報機器を有効に活用している。	
---------	--	--

(高等学校用)

授 業 診 断 シ ー ト

学 校 名：	学 校	授 業 名：
学 部 年 組：	学 部 年 組	授 業 者：
日 時：	年 月 日 () 第 校 時	

項 目	授 業 診 断 の 観 点	備 考
児 童 生 徒 の 状 況	見通しをもって授業に参加している。	
	授業への意欲・関心が維持されている。	
	児童生徒が生き生きと活動し、満足感を得ている。	

授 業 展 開 等	導入は本時の学習の動機付けになり、児童生徒の意欲を高めるものとなっている。	
	授業は児童生徒の実態に応じた早さで展開されている。	
	児童生徒の実態に応じたコミュニケーション手段が工夫されている。	
	児童生徒の意欲等を引き出す適切な言葉かけがされている。	
	児童生徒の自主的・自発的な活動を促す授業展開が行われている。	
	仲間を意識させる活動やことばかけが配慮されている。	
	児童生徒の興味・関心を引き、学習意欲を高める教材が工夫されている。	
	教材を提示するタイミングが適切である。	
指導者の役割が明確で、チームティーチングが適切である。		

そ の 他	障害の状態に応じた学習環境が配慮されている。	
	教室は整頓され、掲示物が整理されている。	
	健康・安全などに十分留意されている。	

(特別支援学校用)

県教育委員会では

- ・指導主事が学校や市町村教育委員会の要請に応じて訪問します。
- ・学校アドバイザーチームが学校を訪問し、授業や学級・学年経営等についても広く懇談します。
- ・県立教育研究所で実施している研修講座では、活用する力を意識したり、意欲を高める工夫を取り入れたりする内容を盛り込んだ講座を次のように開講しています。

「言語活動の充実を図る研修講座」

「理数教育の充実を図る研修講座」

「伝統や文化に関する教育の充実を図る研修講座」

「道徳教育の充実を図る研修講座」

「体験活動の充実を図る研修講座」

「外国語活動の充実を図る研修講座」

「子どもの体力向上指導者養成研修講座」 等

- ・県立教育研究所でのプロジェクト研究の成果を広めます。
- ・学力向上フォーラムを開催しています。
- ・算数・数学の基礎的・基本的な内容の定着を図るため、領域別に構成したワークシート「わくわくワーク」を配布しています。
- ・奈良県小学校・中学校教科等指導資料を作成・配布します。

確かな 学力の育成

重点 基礎・基本の定着を図り、それらを活用する力をはぐくむ

園・学校での具体的取組

■ 幼稚園

- ・身の回りのものをじっくりと観察することを通して、発見する喜びを味わわせる。
- ・感じたことや経験したことを自分なりの言葉で表現する力を育成する。

■ 小学校

- ・個に応じた指導の充実とともに、基礎的・基本的な知識及び技能を定着させるため、繰り返し学習などの学習活動を工夫する。
- ・各教科等において、記録、要約、説明、話し合いなどの言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。

■ 中学校

- ・個に応じた指導の充実とともに、小学校の学習内容を考慮し、基礎的・基本的な知識及び技能を定着させるため、繰り返し学習などの学習活動を工夫する。
- ・各教科等において、記録、要約、批評、論述などの言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。

■ 高等学校

- ・個に応じた指導や中学校における学習との系統性を考慮し、知識及び技能を定着させるため、学習活動を工夫する。
- ・各教科等において、編集、解説、批評、討論などの言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。

■ 特別支援学校

- ・「個別の指導計画」に基づいた効果的な学習指導を展開する。
- ・発達段階に応じた自立を目指し、自ら働きかける力を養う。

取組を支援するための事業

● 奈良県小学校・中学校教科等指導資料

学習指導要領改訂の趣旨及び本県の課題を踏まえた指導資料を示し、児童生徒への指導に役立てるとともに、新学習指導要領への円滑な移行を図る。

● 奈良県学校改善支援プラン

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、各市町村教育委員会や小・中学校が、このプランを活用し、自らの取組の課題を明らかにしたり、授業改善等に役立てたりする。

● 幼稚園・保育所と小学校連携促進事業

幼稚園・保育所における教育活動から小学校の教育活動への円滑な接続の在り方等について研究する。

● 学力向上実践研究推進事業

各学校や地域の実態に応じた授業、指導方法の工夫・改善について研究し、児童生徒の学力の向上を図る。

● 学力向上実践研究推進事業（高等学校）

「学力向上拠点形成事業実践事例集」の活用や教育課程弾力化推進事業等の取組を通して、生徒の学力向上を推進する。

など

「平成22年度学校教育の指導の重点」 奈良県教育委員会 より

関連ホームページアドレス

<http://www.pref.nara.jp/secure/22820/H22sidoujyuuten.pdf>

生活習慣の改善

規範意識の育成

- ・ きまりやルールに対する意識を高めましょう。
- ・ 学校・家庭・地域が連携するシステムをつくりましょう。

★★★ 基本的な生活習慣の確立を目指す ★★★

- ⇒ 家庭での生活習慣、学習習慣等の改善に向けた啓発を行う。
- ⇒ 自ら取り組むことができるような家庭学習の課題の出し方を工夫し、家庭学習の目標を立てる。
- ⇒ 学校に行くまでに持ち物を確認することや、テレビを見たりゲームをしたりする時間のルールを決めることなど、生活習慣に関する事柄を個人懇談や学級懇談会の話題として取り上げる。
- ⇒ 家庭の教育力向上のためのリーフレット、「家庭教育7か条」や「親学サポートブック」等を活用する。 等

★★★ 規範意識を高める指導を目指す ★★★

- ⇒ きまりやルールの必要性を実感させる指導の工夫を行う。
- ⇒ 学習規律の確立を目指す。
- ⇒ 掃除や片付け等、家庭の仕事について、家族の一員として児童生徒が役割をきちんと分担することの大切さを啓発する。
- ⇒ 年中行事や地域の行事等に積極的に参加するよう啓発する。 等

★★★ 学校・家庭・地域が連携できるシステムづくりを目指す ★★★

- ⇒ PTA行事の一環に、家庭教育に関連する講演会等を位置付ける。
- ⇒ 保護者や地域住民に対して、積極的に自校の取組や評価等の情報を公開する。
- ⇒ 自由に参観できる学校公開日を積極的に設ける。 等

県教育委員会では

◎家庭の教育力向上と子どもたちの生活習慣の確立を目指して、啓発リーフレットを作成し、配布しています。

・これまでに作成・配布した家庭教育にかかわる資料

「親学サポートブック ―子どもと向き合って―」（乳幼児期編）

「親学サポートブック ―思春期の子どもをもつ保護者のために―」（思春期編）

「16事例で考える小学校と家庭との連携」

「家庭教育7か条 ―ならっ子 みんなで育てよう―」

・その他の取組

「おはよう・おやすみ・おてつだい」約束運動

手伝い・あいさつキャンペーン

さらに、家庭における規範意識を高めるための研修講座や乳幼児や思春期の子どもをもつ保護者への対応のための研修講座を開催しています。

◎規範意識を高めるために次のような取組を行っています。

・子どもの規範意識向上委員会の設置

規範意識の改善提言（中間発表）

生徒指導指針の作成（小・中学校編）

・法教育入門討議資料の配布

「みちかな ことを いっしょに かんがえよう」（小学校1年生用）

「身近な問題をいっしょに考えよう」（中学生用）

「身近な問題をいっしょに考えよう」（高校生用）

◎地域による子育て意識の高揚を図り、学校における学習活動の効率化や子どもの規範意識の向上、体力向上などを図るために、学校支援地域本部事業を推進しています。

◎児童生徒の問題行動の減少及び高等学校の中途退学者の減少を目指して学校サポーターを配置しています。

◎豊かな経験と専門的知識や技術をもつ方にコミュニティーチャーとして県立学校の講師（ボランティアによる非常勤講師）になっていただき、より実践的な特色ある授業の手助けをしてもらっています。



園・学校での具体的取組

■ 幼稚園

- ・身近な人々とのかかわりを深め、愛情や信頼感、他の人を思いやる心をはぐくむ。
- ・自然や身近な動植物に親しませ、生命を大切にすることをはぐくむ。
- ・よいことや悪いことに気付かせ、ルールを守ろうとする態度を養う。

■ 小学校

- ・自分や他の人を理解し、生命を大切にすることを正義感、責任感をはぐくむ。
- ・集団宿泊活動や自然体験活動などを通して、基本的な生活習慣や社会生活上のルールを身に付けさせる。

■ 中学校

- ・自分や他の人への理解を深め、生命を大切にすることを、人権を尊重する心や自律心、責任感、正義感をはぐくむ。
- ・職場体験活動やボランティア活動などを通して、社会生活上のルールやマナーを身に付けさせ、社会参画しようとする態度を養う。

■ 高等学校

- ・人権尊重の精神と生命に対する畏敬の念を深め、他者と共に主体的に生きる能力と態度を育てる。
- ・就業体験やボランティア活動などを通して、法やルールの意義を理解し、社会の一員としての自覚を深めさせる。

■ 特別支援学校

- ・経験の拡充を図ることで、人の心情を理解する力や判断力を身に付けさせる。
- ・集団に参加することを通して、自分の役割を理解し、行動する力をはぐくむ。

取組を支援するための事業

●「おはよう・おやすみ・おてつだい」
約束運動事業

親子のかかわり方を見直すことを通して、家庭の教育力を向上させ、幼児期における子どもの基本的な生活習慣の向上や規範意識の芽生えを培う。

●規範意識の改善提言及び生徒指導
指針策定事業

児童生徒の規範意識の醸成を図るため、効果的な施策や取組について検討・提言をする。また、生徒指導の在り方についての小・中・高等学校向けのガイドラインを策定し、生徒指導の充実に役立てる。

●中学生キャリア教育推進事業

職場体験やボランティア活動等の取組を進め、実体験を通じて責任を果たすことや約束を守ることの大切さに気付かせ、規範意識の醸成や社会性の向上を図る。

●高等学校におけるキャリア教育の在り方
に関する調査研究実践事例集

この事例集を活用し、社会での自立を控えた高校生に将来について考えさせ、自分の力で進路実現ができるように支援する。

●道徳教育実践研究事業

子どもたちや学校、家庭、地域等の実態を踏まえ、創意工夫を生かした道徳教育を推進するための実践研究を行う。

など

チェック機能の充実

- ・ 学校・家庭・地域が連携するシステムをつくりましょう。
- ・ 学校全体で取り組むシステムをつくりましょう。

評価の観点等は、はじめに作成した改善プランを基に作成します。

学校で定めた重点目標に基づいて取組の成果と課題を検証し、取組の修正を行います。

自己評価だけでなく学校関係者評価においても評価項目を設け、評価結果や改善に向けた方策を積極的に公表しましょう。

参考となるホームページアドレス一覧

文部科学省	http://www.mext.go.jp/
国立教育政策研究所	http://www.nier.go.jp/
奈良県教育委員会	http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid=1691.htm
奈良県立教育研究所	http://www.nara-c.ed.jp/